

建設産業情報（最近の動向）

在外公館名 在ブルガリア大使館

記入日 平成26年7月16日

1. 現地の建設工事に係る経済情報

資料名：2014年5月建設産業指数（国家統計局発表）

(http://www.nsi.bg/sites/default/files/files/pressreleases/STR_SAWDA_2014-05_en_T2H0YZR.pdf)

2. 建設業制度、入札契約制度の改正動向

該当なし

3. 報道情報

	タイトル、概要	日付/掲載紙
1	<p>（タイトル）ブルガリアは漏水対策にEU基金から10億ユーロ以上を活用する見通し</p> <p>（概要）ブルガリアの要請した15億ユーロ（2014-2020年）を欧州委員会が承認した場合、ブルガリアは上水道の漏水対策と下水処理向上のため、EU基金より10億ユーロ以上を活用する予定。他方、EU基金からの補助金を獲得するためには、2007-2013年期補助金である14億ユーロを吸収する必要があるが、予定されていた65件の下水処理場のうち、建設が終了したのは10件のみであり、補助金獲得が困難となる可能性もある。予定通り補助金獲得が出来た場合、漏水対策等のプロジェクトは人口1万人以上の居住区で実施される予定。</p>	2014年6月2日付 Standart紙5面
2	<p>（タイトル）韓国がヴァルナに廃棄物工場建設を提案</p> <p>（概要）シン駐ブルガリア韓国大使は、ペイチェフ・ヴァルナ市長との会談時において、ヴァルナに廃棄物処理工場の建設を提案。</p>	2014年6月6日付 Standart紙11面
3	<p>（タイトル）新規EU基金実施プログラムの承認に遅れの見込み</p> <p>（概要）欧州委員会がブルガリアの提出した「パートナーシップ協定 2014-2020」案にコメントを付して返却したため、当初10月までに予定されていたEU基金実施プログラムの承認に遅れが</p>	2014年6月11日 付 Standart紙5面

	生じる見通しが出てきた。2014年中の承認も難しくなる可能性もあり。	
4	(タイトル) ルセ・ヴァルナ間鉄道改修に7億5000万レヴァ (概要) 国営企業「鉄道インフラ」社は、ルセ・ヴァルナ間の改修工事に関する入札公示が2014年下半期に行われる見通しと発表。プロジェクト総額は7億4900万レヴァ(VAT抜き)となる見通し。	2014年6月16日付 Standart 紙8面
5	(タイトル) 投資家たちがルセ・ヴァルナ間の鉄道に対して関心を表明 (概要) パパゾフ運輸・通信・IT大臣は、フランス企業及びトルコ・中国コンソーシアムがルセ・ヴァルナ間の鉄道の近代化に対して関心を表明したと発言。	2014年6月20日付 Standart 紙10面
6	(タイトル) 2020年までに157億ユーロのEU基金 (概要) ブラタノヴァ副首相は改正された「パートナーシップ協定 2014-2020」案が6月26日に欧州委員会に提出される予定であり、秋前までに協定案が完了する予定と発言。これにより、ブルガリアは2020年までにEU基金から157億ユーロを獲得する見通し。	2014年6月26日付 24 Chasa 紙8面
7	(タイトル) ポーランド企業がシプカ峠トンネル建設参画に向けて始動 (概要) 「Mosti-Bulgaria」社及び「Mosti-Katovice」社から成るコンソーシアムと道路インフラ庁がシプカ峠トンネルのコンセプト・デザインの準備に関する契約を締結した(10万4000レヴァ、EU基金運輸実施プログラム活用)。	2014年6月26日付 Standart 紙11面他
8	(タイトル) 政府は1日にして数百もの入札を公示 (概要) 6月30日、内閣総辞職を前にして、各省庁は数百の入札を公示(建設関連については147件)。道路インフラ庁は2日間(6月27日及び6月30日)で総額7億6000万レヴァの入札を公示した。 (注: 道路インフラ庁の入札情報は、同庁のホームページ(http://www.api.bg/index.php/bg/obshestveni-porachki/otkriti-proceduri-2014-g)に掲載(7月16日現在ブルガリア語のみ))	2014年7月3日付 Sega 紙1面

4. その他我が国建設業界にとって参考となりうる最近の動向（報道情報以外）

29日、プレヴネリエフ大統領と政党党首等との間で協議が行われ、早期国民議会総選挙が10月5日に実施されることが確認された。また、国民議会は8月6日に解散されることで合意された。暫定政府は、国民議会解散日に任命される予定。